

「カザフスタンにおける統合的ダム管理を通じた洪水対策強化プロジェクト (UNDP 連携)」署名式を実施

2025年3月7日、アスタナ市において、飯島大使とヴァヴィエルニヤ UNDP カザフスタン代表との間で、供与額 3.02 億円の対カザフスタン無償資金協力「統合的なダム管理システムを用いた洪水制御計画 (UNDP 連携)」に関する書簡の署名・交換が行われました。

本プロジェクトは、カザフスタン政府の要請や JICA 調査団による調査を踏まえ、昨年春に未曾有の洪水被害を受けたカザフスタンにおいて、全国区のダム管理等に関するマニュアルの策定や、ダム監視システムや早期警報システムを導入するものです。

具体的には、洪水時の迅速な対応を可能にするため、高精度の水位センサーや流量監視装置を導入し、河川やダムの水位をリアルタイムで測定できるようにします。さらに、異常水位が検知された際には、警報サイレンを通じて周辺住民や関係機関へ迅速に通知し、被害の軽減を図ります。

日本政府は、今後もカザフスタンとの協力を深め、防災対策の強化に向けた支援を継続してまいります。



